本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

2128

FS(DIG)B*JA

取扱説明書

FS(DIG)B

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行なっても、製品に傷害を与えることはありません。この時計の特徴、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）


⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）


●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

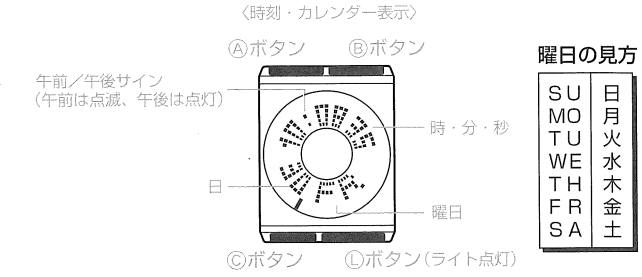
記憶させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残して下さい。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

時刻モード

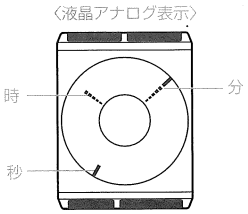


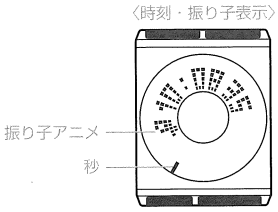
曜日の見方

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

★表示切り替え

Ⓑボタンを押すごとに、時刻・カレンダー表示と液晶アナログ表示、時刻・振り子表示が切り替わります。



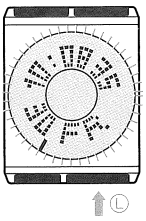


★ライト点灯について

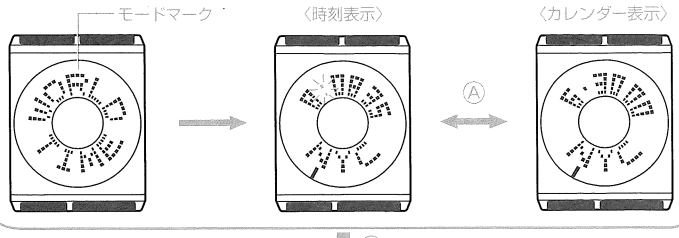
どのモードでもⓁボタンを押すと文字板が約1.5秒間発光します。

〈ご注意〉

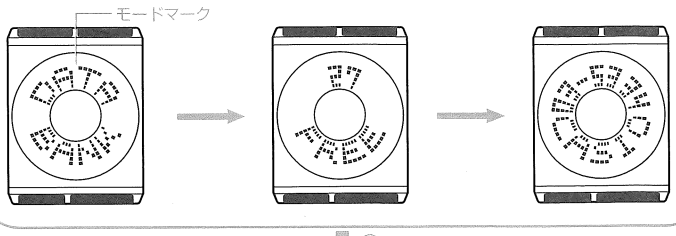
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押すと、発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。



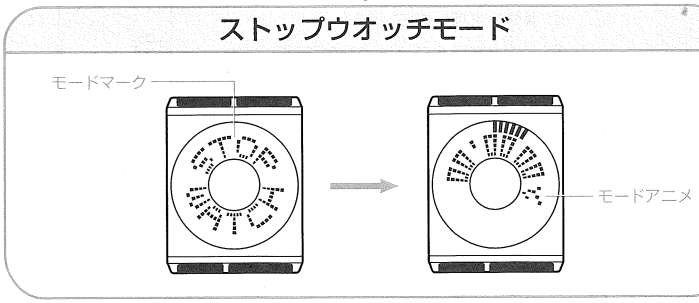
ワールドタイムモード



テレメモモード



ストップウオッチモード



時刻・カレンダーの合わせ方

時刻モードで行ないます。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、24時間制（24）にご注意ください。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

※年は西暦で1995～2039年までセットできます。

※曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

※時刻・カレンダーのセットで点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

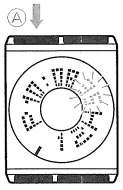
●秒合わせ

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

1.セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

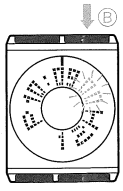
➡「秒」が点滅します。



2.秒合わせをする

Ⓑボタンを押します

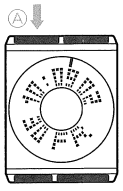
➡ 00～29秒のとき：切り捨てられる
30～59秒のとき：1分繰り上がる
※時報は「時報サービス117番」が便利です。



3.秒合わせを終了する

Ⓐボタンを押します

➡ 点滅が止まります。



★都市選択

ワールドタイム機能で表示される各都市の時刻を決めるための基準都市を選択します。
基準都市を選択すると、その他の都市は時差計算されて表示されます。
※ワールドタイムの都市については、裏面の「ワールドタイム都市コード一覧」をご覧ください。

★12／24時間制表示

12時間制表示とは1日を午前／午後に分けてあらわす表示方法で、24時間制表示とは1日を24時間としてあらわす表示方法です。

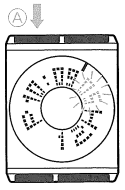
●時刻・カレンダーのセット

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットしてください。

1.セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

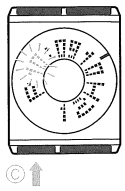
➡「秒」が点滅します。



2.セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

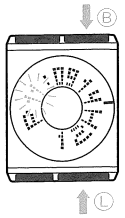
➡ Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が「秒」→「DSTのON/OFF」→「都市選択」→「時」→「分」→「12／24時間制切り替え」→「年」→「月」→「日」→「秒」…の順に移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



3.点滅箇所をセットする

ⒷまたはⓁボタンを押します

➡「DSTのON/OFF」と「12／24時間制切り替え」はⒷボタンを押すごとに切り替わります。
「都市選択」、「時」、「分」、「年」、「月」、「日」はⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンでセットしたい箇所を選び、ⒷまたはⓁボタンで表示をセットする操作を繰り返します。

4.セットを終了する

Ⓐボタンを押します

➡ 点滅が止まります。

テレメモの使い方

Ⓒボタンを押して、テレメモモードで行ないます。

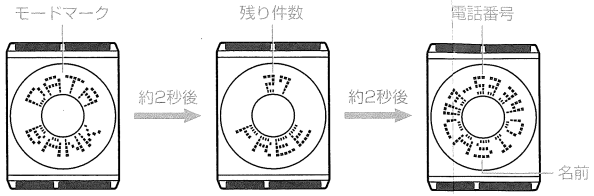
●テレメモは名前8文字、電話番号14桁を最大30件メモリーできます。

●メモリーしたデータは、名前順に並び替わります。

※並び替えは、名前の先頭から比較して空白、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、－、.、／、:の順です。

※テレメモのセットで点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモモードに切り替えると、テレメモの残り件数を表示後、前回最後に見た名前と電話番号が表示されます。



※データが30件メモリーされているときは、残り件数は表示されずに“FULL”と表示されます。

●名前のサーチ

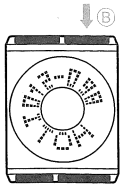
Ⓑボタンを押すごとに名前が1つずつ進みます。

※押し続けると早送りできます。

名前が5文字を、電話番号が7桁を越えるときは、右から左に流れるスクロール表示となります。

※スクロール中は名前と電話番号の最後に区切りマーク“<”がつきます。

※スクロールは2～3分後に停止し、ⒶまたはⓁボタンを押すと再びスクロールを開始します。



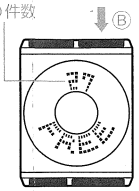
●データの入力（修正）

1. 残り件数表示または修正したいデータを探す

Ⓑボタンを押します

➡ データがすでに30件メモリーされている場合は、不要なデータをクリアーしてください。

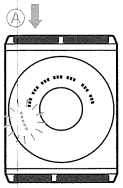
例）新規入力の場合



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡ 名前部1桁目が点滅します。

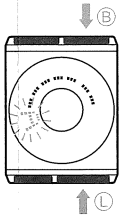


3. 名前を入力する

ⒷまたはⓁボタンを押します

➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の文字が1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※押し続けると早送りができます。

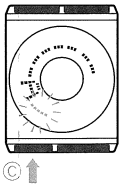


4. 入力箇所を移動する

Ⓒボタンを押します

➡ Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が1つずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。



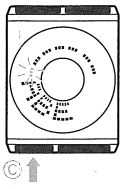
Ⓒボタンでセットしたい箇所を選び、ⒷまたはⓁボタンで表示をセットする操作を繰り返します。
入力文字＝空白、A～Z、0～9、－、.、／、:、’

5. 電話番号入力に移動する

Ⓒボタンを押します

➡ Ⓒボタンを何回か押して電話番号の1桁目を点滅させます。

※押し続けると早送りができます。

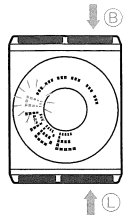


6. 電話番号を入力する

ⒷまたはⓁボタンを押します

➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の文字が1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※押し続けると早送りができます。

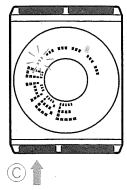


7. 入力箇所を移動する

Ⓒボタンを押します

➡ Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が1つずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンでセットしたい箇所を選び、ⒷまたはⓁボタンで表示をセットする操作を繰り返します。
入力文字＝－、0～9、空白

8. 終了する

Ⓐボタンを押します

➡ **〈新規入力の場合〉**

メモリー件数が30件未満のときは、空ページ表示となり、続けて新規入力ができます。

入力を終了するときは、もう一度Ⓐボタンを押します。

〈修正の場合〉

点滅が止まります。

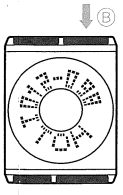
※テレメモの入力や修正で点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

新規入力やデータ内容を修正した場合は、名前順に並び替える「ソート表示」となります。

●データのクリアー

1. クリアーしたいデータを探す

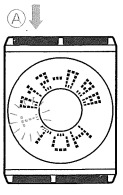
Ⓑボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡ 名前部1桁目が点滅します。

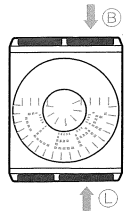


3. クリアーする

Ⓑボタンを押しながらⓁボタンを同時に押します

➡ “CLEAR”と点滅表示後、データがクリアーされます。

※クリアー後は新たなデータを入力できます。



4. 終了する

Ⓐボタンを押します

※テレメモのクリアーで点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

ワールドタイムの使い方

Ⓒボタンを押して、ワールドタイムモードで行ないます。

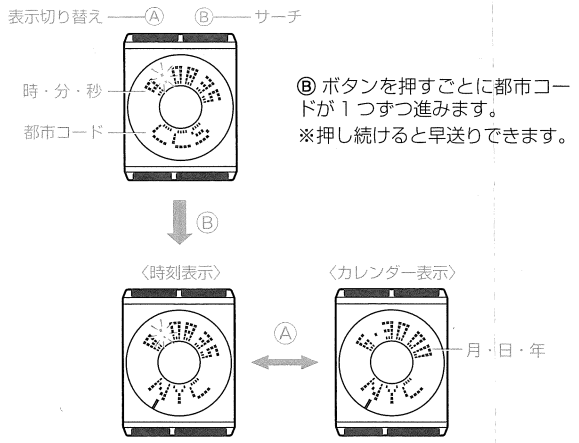
●世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。

●ワールドタイムモードに切り替えると、前回見た都市の時刻が表示されます。

●ワールドタイムの「秒」は現在時刻に連動しています。

※時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、ワールドタイムの時刻も24時間制表示になります。

●都市のサーチ



Ⓑボタンを押すごとに都市コードが1つずつ進みます。
※押し続けると早送りできます。

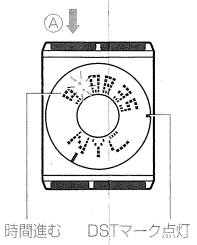
●サマータイムの設定／解除

サマータイムは各都市ごとに設定できます。

Ⓐボタンを1～2秒間押します

※表示はカレンダー表示になりますので、時刻表示に戻すにはもう一度Ⓐボタンを押します。

※サマータイムを解除するには、もう一度Ⓐボタンを1～2秒間押します。



★サマータイムについて

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

時刻・カレンダーについて

ワールドタイムは時刻モードでセットされている都市の時差に連動しています。
もし、ワールドタイムの時刻が合っていないときは、時刻モードの時刻および都市選択を正しく合わせてください。

●ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---	---	−11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	−10	パペーテ
ANC	アンカレジ	−9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、マイアミ、ボストン
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス
---	---	−2	
---	---	−1	アゾレス諸島
GMT		±0	＜グリニッジ標準時＞
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト
CAI JRS	カイロ エルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート
JED	ジッダ	+3	クウェート
THR	テヘラン	+3.5	
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KBL	カブール	+4.5	
KHI	カラチ	+5	
DEL	デリー	+5.5	
DAC	ダッカ	+6	
RGN	ヤンゴン	+6.5	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	ホンコン	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
ADL	アデレード	+9.5	
SYD	シドニー	+10	グアム
NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は1999年6月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

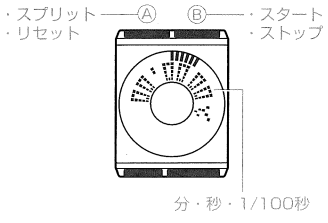
ストップウオッチの使い方

Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードで行ないます。

●ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。

●計測時間を超えると自動的に"0"に戻って計測を続けます。

●Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
●計測終了後にⒶボタンを押すと、00分00秒00（リセット表示）になります。
●計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。
※スプリット計測を解除するには、もう一度Ⓐボタンを押します。



●通常の計測

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測…

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム計測

Ⓑ スタート → Ⓐ スプリット計測 → Ⓐ スプリット解除 → Ⓑ ストップ → Ⓐ リセット

●1着・2着同時計測

Ⓑ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓑ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

製品仕様

水晶発振周波数： 32,768Hz

精　　度： 平均月差±15秒以内

基本機能： 時・分・秒・午前／午後（P）
月・日・曜日

ワールドタイム： 27都市29タイムゾーン
時・分・秒、月・日、都市コード／時差
サマータイム設定機能

テレメモ： 名前＝8文字、電話番号＝14桁
メモリー件数＝最大30件
自動ソート、残りメモリー数表示

ストップウオッチ： 計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、
1・2着同時計測

その他： 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、
ELバックライト

主要回路素子： 音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI

使用電池： CR-1612（電池別途販売）
※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

電池寿命： 約2年
（1日あたり、ELバックライトを1.5秒間使用した場合）

ご使用上の注意

防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウィンドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●**表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気

●磁気の影響はありません。

薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●**「サビ」**
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
  ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●**「劣化」**
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●**「かぶれ」**
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
●長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
●長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
●長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
●プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。
●塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
●塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■電池交換について

最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。